

「自分の将来に夢や目標を持ち、自己実現に向けて挑戦し続ける生徒の育成」

好きです!山中

学校便り第1号 平成29年4月25日

夢や目標に向かって一人ひとりが輝く学校を目指して!

平成29年度も始業式、入学式から2週間が経ちました。慌ただしい毎日ではありますが、頼れる2・3年生が様々な場面で、主体的に行動し活躍してくれています。新入生、231名も先輩たちの姿やアドバイスのもと、中学校生活にずいぶん慣れ元気に登校する姿があり、うれしく思います。本年度は、全校生徒693名、75名の先生方とともに「夢や目標に向かって一人ひとりが輝く山鹿中」を創っていきます。保護者の皆様、地域の方々、本年度もどうぞよろしくお願い致します。

山鹿中学校では、会議や研修等をできるかぎり長期休業中に設定し、子どもたちと向き合う時間を大切にしています。先生方は、時に厳しく、時に優しく、我が子と同じ思いで、しっかりと子どもたちと向き合っています。

また、「あきらめない絶対あきらめない」の山中スピリッツは、生徒はもとより、子どもたちの夢実現に向けた私たち職員の基本姿勢でもあります。中学校3年間、そして卒業後もねばり強く子どもたちと関わり見守ってまいります。

最後に、保護者の皆様には、山鹿市では、「早ね あいさつ 朝ごはん」を合い言葉に、家庭での生活リズムの習慣が図られています。中学生も、睡眠を十分にとり、しっかりと朝ご飯を食べることで、学校での学習や生活に力を発揮できます。あいさつも、子どもたちの取組が、家庭や地域でのあいさつに広がりますよう合わせてよろしくお願いします。



新入生にラジオ体操を指導をする3年生!

あれから1年「まさか。。。」に備えて

熊本地震から1年が経ちました。経験したことのない激しい揺れに、恐怖を覚えるとともに、「まさか熊本でこんな地震が」「まさか2度も大きな地震が起きるなんて」「まさか熊本城が、阿蘇大橋が崩壊するなんて」と、まさかの連続でした。「災害は他人事ではなく、どこでも起こりうる」ことを繰り返し伝え、まさかに備えていかねばと思います。先日も、地震を想定した避難訓練を行いました。被災された方々の痛みを忘れることなく、日々の当たり前前ことに感謝し、熊本地震での教訓を学校教育ですらに活かしていきたいと思ひます。



満開の桜の下を登校、当たり前前日常に感謝!

*先日の授業参観、PTA 総会等大変お世話になりました。